

敷名 3 区 B 集会所解体工事

設計図

敷名 3 区 B 集会所解体工事

解体 跡整備					
総合		意匠 仮設（参考）図		電気設備	機械設備
図 番	図面名称	図 番	図面名称	図 番	図面名称
A-1	図面リスト	A-6	解体後 配置、平面図 S=1:100	E-1	解体前 電気設備図 幹線 S=1:50
A-2	建築解体・撤去工事特記仕様書（1）	A-7	解体後 コミッーション図 S=1:40	E-2	解体前 電気設備図 電灯、コンセント S=1:50
A-3	建築解体・撤去工事特記仕様書（2）	A-8	解体前 配置図 S=1:100		
A-4	家屋調査仕様書 S=1:600	A-9	解体前 建具配置図 平面図 部分詳細図 S=1:50 S=1:5	図 番	図面名称
A-5	付近見取り図	A-10	解体前 仕上げ表 立面図 S=1:100	M-1	解体前 給排水衛生設備 内外部配管図 S=1:50 S=1:30
		A-11	解体前 矩計図 S=1:30		
		A-12	解体前 展開図 S=1:50		
		A-13	伏せ図 基礎断面図 S=1:100 S=1:20		
		K-1	仮設平面図（解体中） S=1:100		

			敷名 3 区 B 集会所解体工事		有限会社 アイ設計コンサルタント	
			図面番号 A-1 号	図面内容	広島県知事 18（1）第 1028 号	
			令和 4 年 9 月 日	図面リスト A2版→100% A3版→70.7%	担 当	製 図
						設 計

7 特殊な建設副産物の処理	1	調査	調査 分析による特殊な建設副産物の調査 ・ 行う 採取場所（ ）	[7. 1. 3]
	2	特殊な建設副産物の処理等	9章 機械設備による。それ以外は、下記による。 フロン類を使用している設備機器 ・ 冷凍機の冷媒 ・ パッケージ形空調機の冷媒 ・ ルームエアコンディショナーの冷媒 「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象になっているものは、同法に従ってリサイクル（フロン類の回収を含む）を行い、監督職員に次の資料を提出する。 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し フロン類以外の特殊な建設副産物を使用している設備機器等 ・ ・	[7. 3. 1]
⑧ 電気設備	①	発生材の処理等	下記以外は、現場説明書の施工条件明示による 1) 引渡しを要するもの ○ 無 ・ 有 （ ・ 金属類 ・ 壁類 ・ 電線、ケーブル ・ ） 2) 特別管理産業廃棄物 ・ 無 ・ 有 （ ・ PCB使用機器 ・ 石綿含有設備資機材） PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析結果（ ・ 無 ・ 有） 撤去する変圧器等は製造年、品番等を確認し微量PCB分析の要否を判定する。 撤去する変圧器等の微量PCB分析を行う。 分析費（ ※ 別途 ・ 本工事） PCB使用機器撤出処理費（ ※ 別途 ・ 本工事） PCB使用機器収納容器 ※ 別途 ・ 本工事（用途 ） 石綿含有設備資機材は関係法令に従い適切に処理する。 撤去する石綿含有設備資機材は機器の製造年、品番等を確認し石綿含有の有無を判定する。 撤去する石綿含有設備資機材の分析を行う。 分析費（ ※ 別途 ・ 本工事） 石綿含有資機材の撤出処理費（ ※ 別途 ・ 本工事） 3) 再生資源化を図るもの ・ 無 ・ 有（ ・ 蛍光管 ・ 小形二次電池） 撤出処理費（ ※ 別途 ・ 本工事） 4) 上記1）～3）に該当しない発生材 ・ 無 ・ 有 撤出処理費（ ※ 別途 ・ 本工事）	
	①	発生材の処理等	下記以外は、現場説明書の施工条件明示による 1) 引渡しを要するもの ○ 無 ・ 有 （ ・ 金属類 ・ 機器類 ・ ） 2) 特別管理廃棄物処理 ・ 無 ・ 有 （ ・ 廃油 ・ 石綿含有資機材 ・ ） 特別管理廃棄物は関連法令等に従い適切に処理する。 ・ 廃油の処理は図示による。なお、撤去に際しては、火気の使用を禁止する。 廃油撤出処理費（ ※ 別途 ・ 本工事） ・ 石綿含有資機材 （ ・ 配管フランジ接合部及びバルブガスケット ・ ダクトパッキン ・ 煙道用パッキン ・ たわみ継ぎ手 ・ 配管保温材 ・ ） 上記以外に撤去する機器は製造年、品番等を確認し石綿含有の有無を判定する。 石綿含有資機材の処理は図示による。 石綿含有資機材の撤出処理費（ ※ 別途 ・ 本工事） 3) 特殊な建設副産物の処理 ・ フロン系冷媒処理 フロン系冷媒は関係法令等に従い適切に処理する。対象機器は図示による。 回収処分費（ ※別途 ・ 本工事） ・ 臭化リチウムの処理 臭化リチウム水溶液は関係法令等に従い適切に処理する。 対象機器は図示による。 回収処分費（ ※別途 ・ 本工事）	
① その他	①	建設発生土の処理	ⓧ 現場説明書の施工条件明示による ・ 構内指示場所に敷き均し ・ 構内指示場所に堆積 【解体工事以外（舗装・工作物等）は、新営・改修特記を流用し、10その他に追記する】	<3. 2. 5>

				敷名3区B集会所解体工事		有限会社		アイ設計コンサルタント	
				図面番号 A-3 号		図面内容		広島県知事18(11)第1028号	
				令和 4年 9月 日		解体工事特記仕様書（2）		一級建築士第157681号 杉谷 優 治	
						A2版→100% A3版→70.7%		担 当	
								製 図	
								設 計	

家屋調査仕様書

- 1 工事名称 敷名3区B集会所解体工事（家屋調査）
2 業務場所 三次市三和町敷名11468番地4
3 業務内容 敷名3区B集会所解体工事 に伴い、近隣建物（3棟）の地盤変動影響調査（事前調査）を行う

家屋調査対象建物

符号	構造・用途	延床面積
①	木造 2階建て 住居	約150㎡
②	木造 2階建て 住居	約150㎡
③	木造 2階建て 住居	約150㎡

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、〇〇工事に伴う地盤変動影響調査（事前調査）に適用する。
2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
○用地調査等業務共通仕様書（広島県土木建築局制定（直近の改正版を用いること。）。以下「共通仕様書」という。）
3 特記事項は○のついたものを適用する。

第2節 管理技術者及び照査技術者

- 1 受注者は、つぎの資格要件を有する管理技術者及び照査技術者を配置すること。
（1） 管理技術者（資格要件は次のいずれかに該当する者）
①受注した用地調査等のうち主たる補償業務に関する補償業務に関し、7年の実務経験を有する者・・・実務経歴書を添付
②受注した用地調査等のうち主たる補償業務に関する補償業務管理士・・・資格を証する書面（コピー可）を添付
③補償コンサルタント登録規程第3条1号に規程する補償業務の管理を司る専任の者（補償業務管理者）・・・登録に当たり交付される補償コンサルタント登録済みを証する書面の写し（コピー可）（登録部門に係る補償業務管理者の氏名が記載されたもの）を添付
④補償業務全般に関する指導監督の実務の経験3年以上を含む20年以上の実務の経験を有する者・・・実務経歴書を添付
2 業務分野別金額（当該委託業務の契約金額に当該委託業務を構成する業務分野の構成比率を乗じて得た額。以下同じ）が500万以上の業務分野の管理技術者が、他の業務分野の管理技術者を兼務しようとする場合（異動等による場合を含む。）の取扱いは、当該業務と密接に関連する業務又はプロポーザル方式により発注した業務を兼務する場合を除き、原則として次のとおりとする。
（1）業務分野別金額が2,500万円以上の業務分野管理技術者は、専任で配置することとする。
（2）業務分野別金額が500万円以上2,500万円未満の業務分野管理技術者は、当該分野の外に5件以上の業務分野の管理技術者を兼務させない事とする。
3 管理技術者は、業務の確認に当たっては、用地調査等業務チェックマニュアル（案）（令和3年7月改正）により実施することとする。

第2章 打合せ協議等

第1節 打合せ協議等

- （1） この業務実施に先立つ打合せ協議を行う際は、用地調査等業務チェックマニュアル（案）（令和3年7月改正）により確認を行うこととする。
（2） この業務実施のための土地・建物等への立入りにあたっては、事前に立入り方法等について調査職員と協議すること。

第2節 管理技術者の出席

この業務に関する打合せ協議を行う際は、管理技術者が立ち会うこと。

第3章

第1節 成果品の作成

成果品の作成にあたっては、次のことを明記した概説書を作成し添付するものとする。
概説書の作成部数は2部とする。（調査対象物所有者の確認後、1部は監督職員に、1部は調査対象物所有者へ提出する。）
・建物等の概要（所有者・使用者・構造・用途・経過年数・延べ面積等）
・事前調査における損傷箇所等の状態及び程度
・外部・室内ともクラックの長さ及び幅の確認が出来る程度の写真（4面共）
・屋根の瓦の割れ、ずれの確認できる写真

第4章 その他

第1節 関連図書等

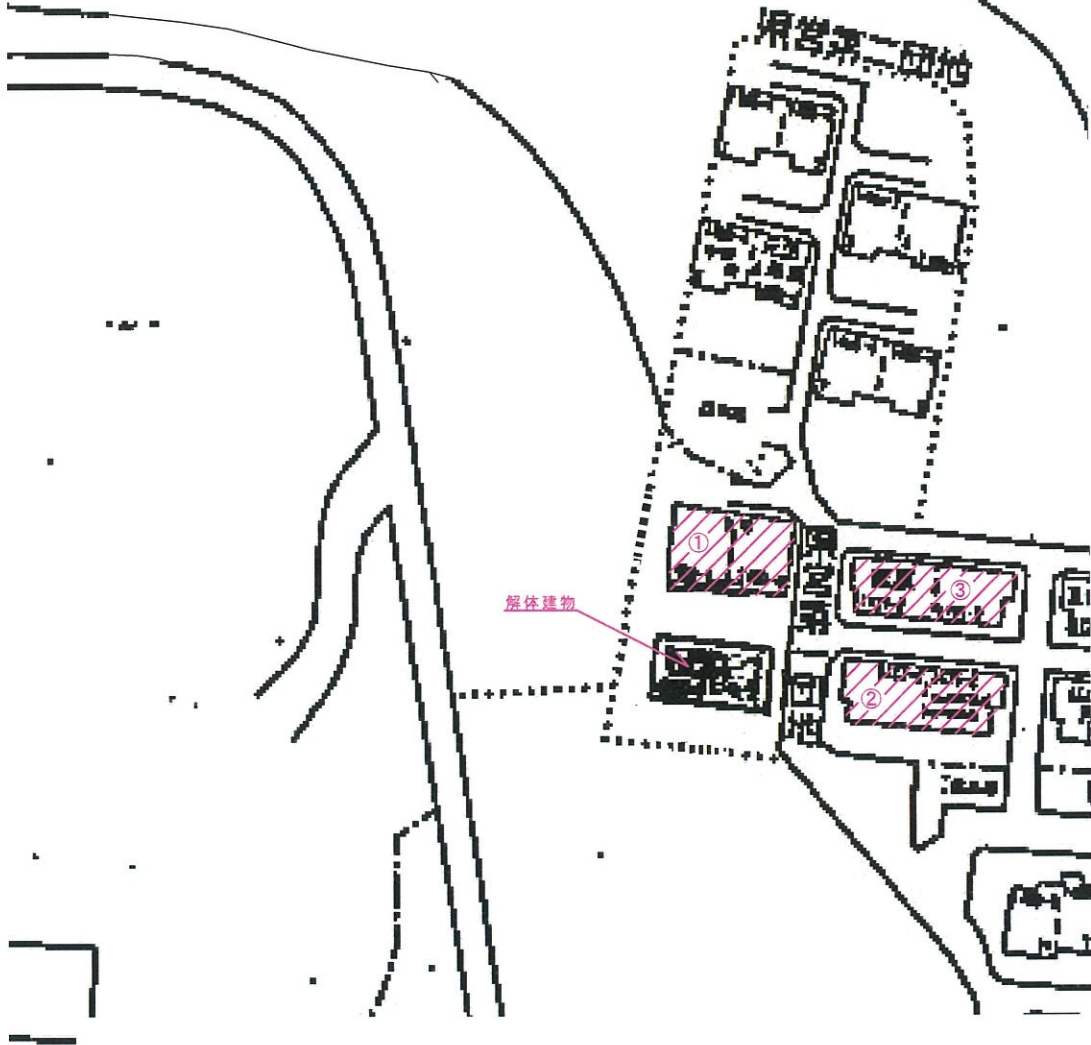
この業務は共通仕様書によるもののほか、次の図書により実施するものとする。
・公共事業に係る工事の施行に起因する地盤変動により生じた建物等の損害に係る事務処理要領（昭和61年4月1日付け建設省経整発第22号建設事務次官通達）
・公共事業に係る工事の施行に起因する地盤変動等により生じた建物等の損害に係る事務処理要領（平成15年4月1日付け広島県土木建築部）

第2節 チェックリスト

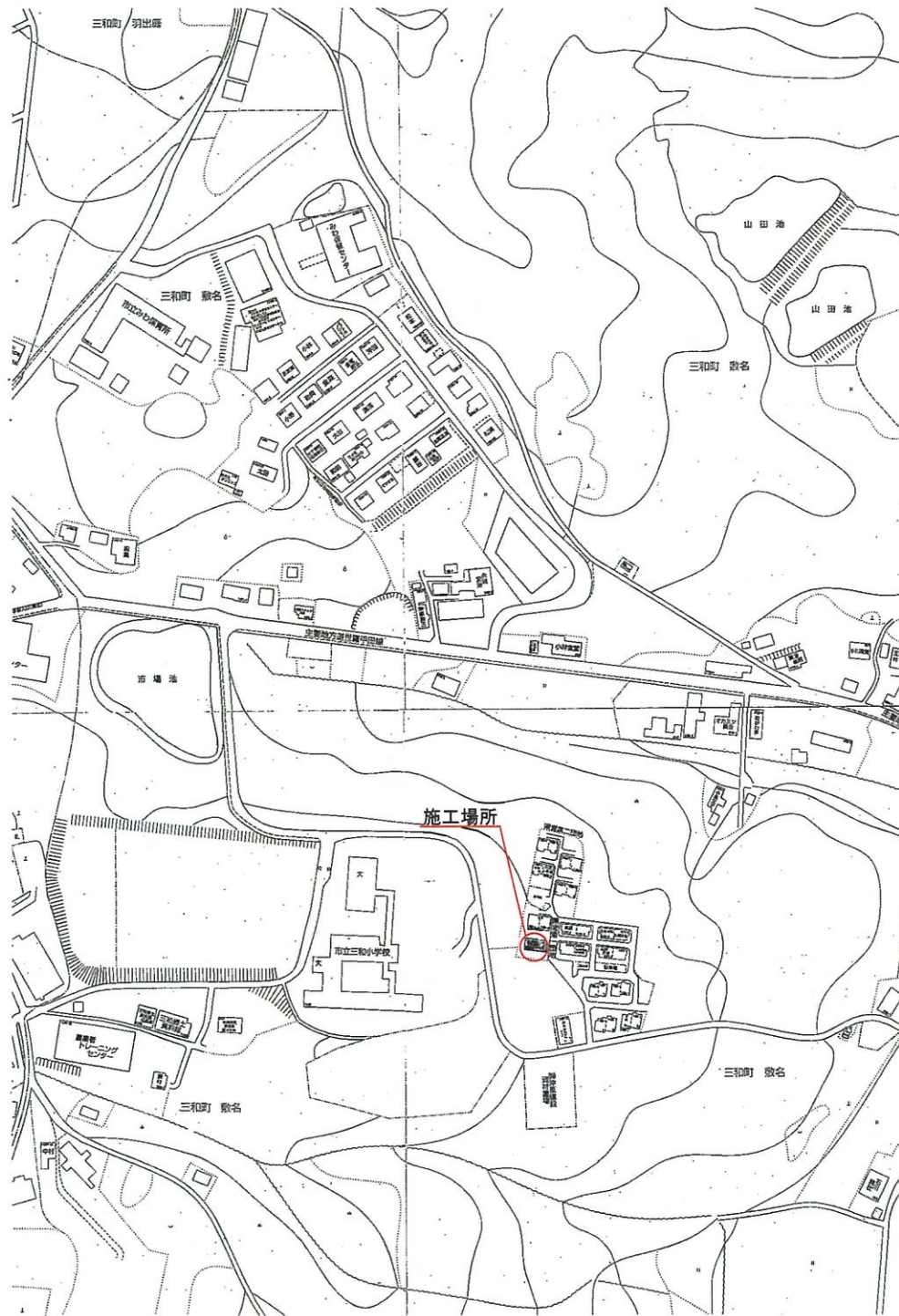
- （1） 管理技術者及び照査技術者は当該対象項目を確認の上、成果品のチェックを行い、それぞれの欄に○をつけるものとする。
（2） チェックリストは2部作成し、発注者及び受注者がそれぞれ1部を保管する。

第3節 調査留意事項等

配置図 S=1：600



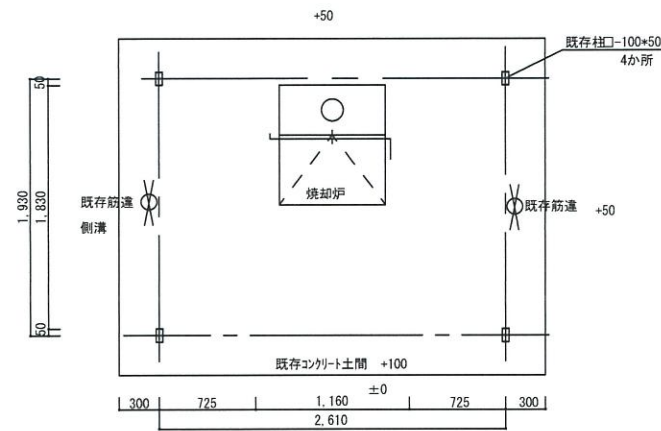
敷名3区B集会所解体工事				有限会社 アイ設計コンサルタント		
図面番号 A-4 号		図面内容		広島県知事18(1)第1028号 一級建築士第157681号 杉谷優治		
令和 4年 9月 日		家屋調査仕様書		1/600 A2版→100% A3版→70.7%	担当	製図 設計



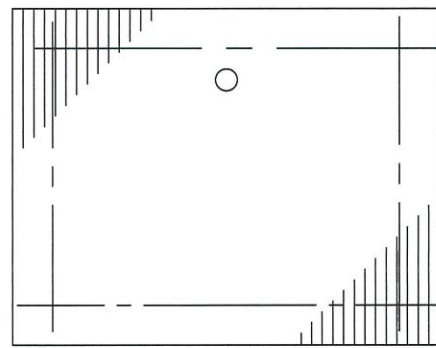
付近見取り

		敷名3区B集会所解体工事		有限会社 アイ設計コンサルタント	
		図面番号 A-5 号	図面内容	広島県知事18(1)第1028号	
		令和 4年 9月 日	付近見取り	一級建築士第157681号 杉 谷 優 治	
				担 当	製 図
					設 計

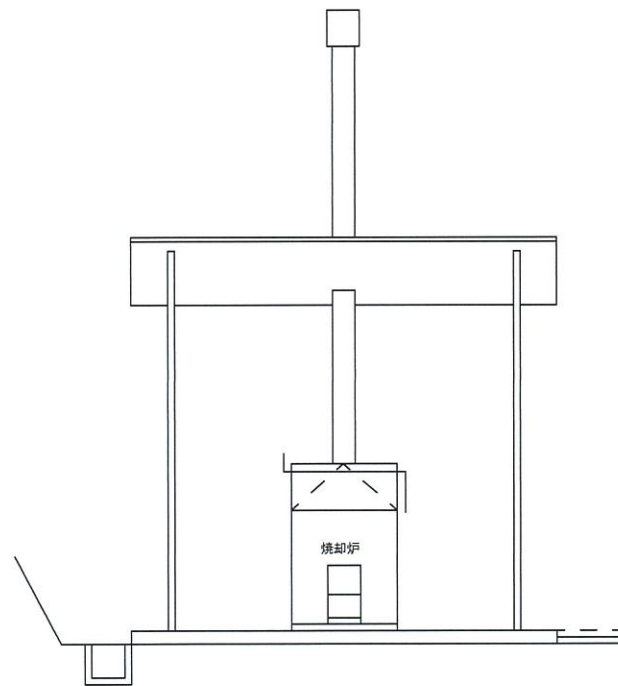
既存 焼却場
焼却炉撤去
建屋撤去



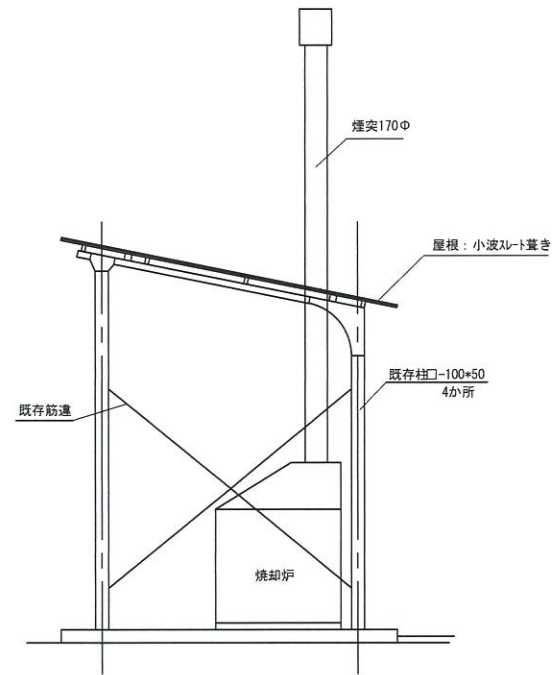
平面図 S=1:40



屋根伏せ図 S=1:40

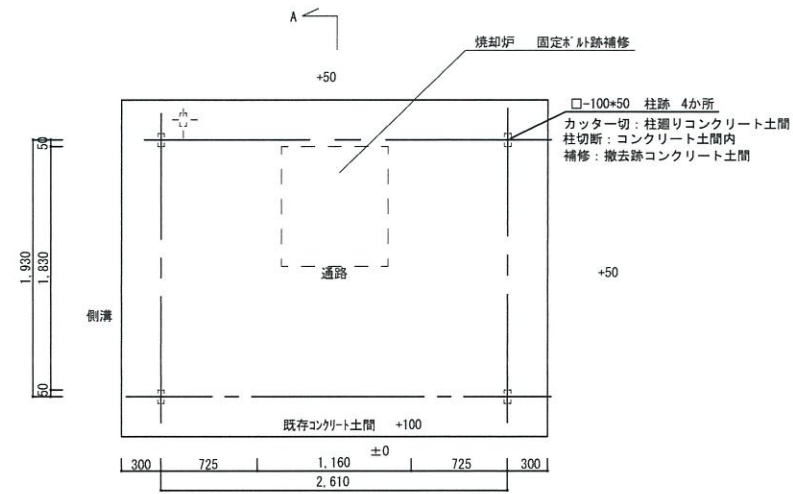


正面図 S=1:40

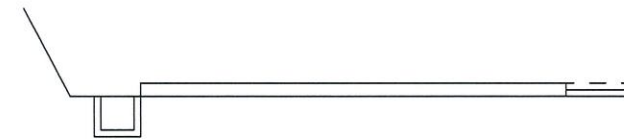


断面図 S=1:40

改修後 ゴミステーション



平面図 S=1:40

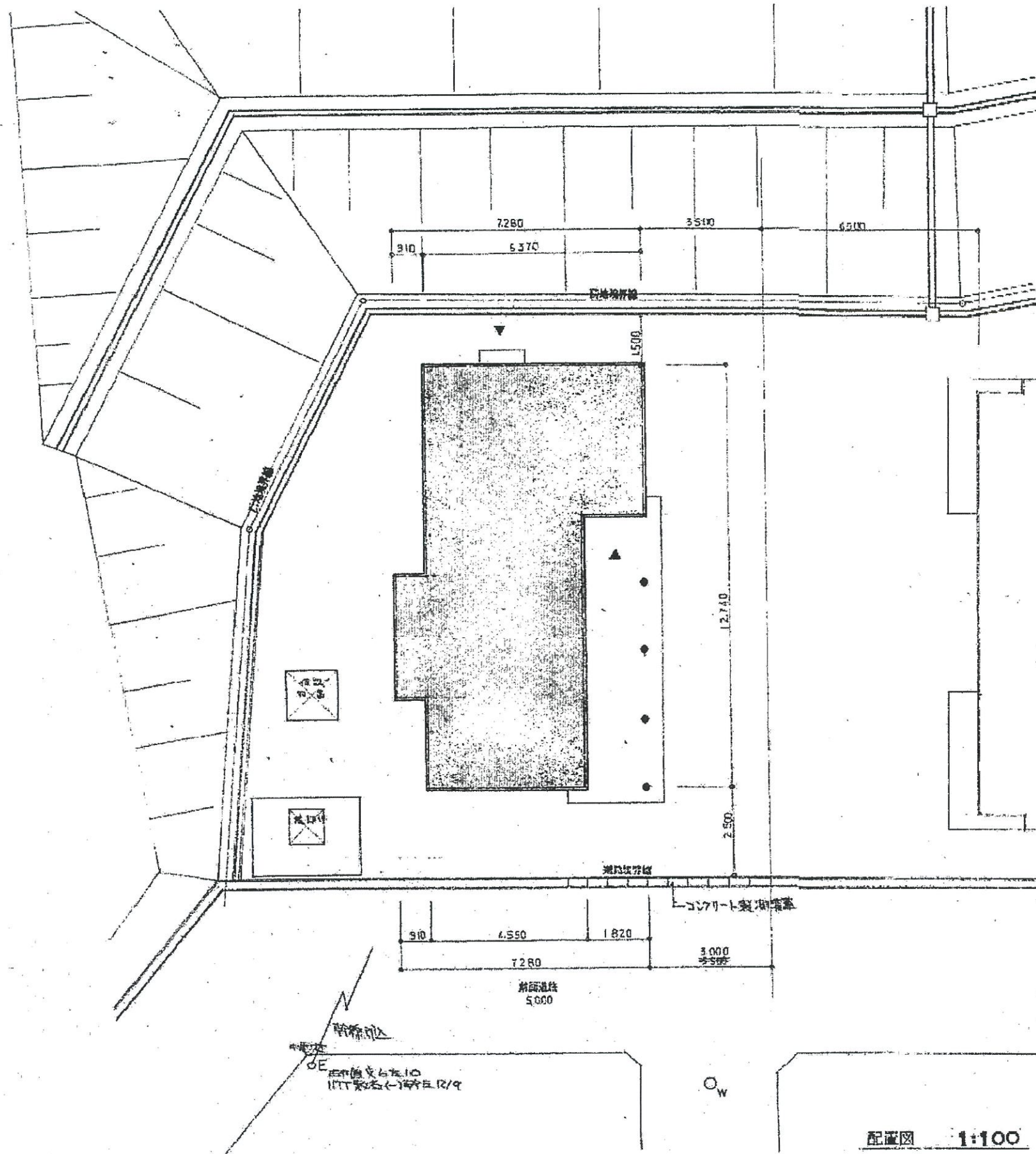


正面図 S=1:40



断面図 S=1:40

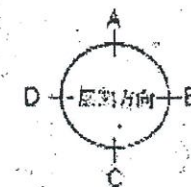
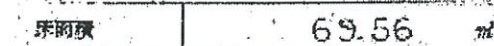
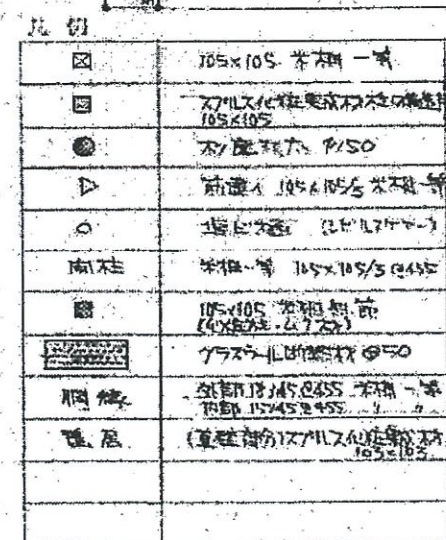
敷名3区B集会所解体工事 設計図				有限会社 A-I 設計コンサルタント			
図面番号 A-7 号		図面内容 ゴミステーション図		広島県知事18(1)第1028号			
令和4年 9月 日		改修 平面、立面図 S=1:40		一級建築士第157681号 杉谷 優治			
担当		製図		設計			



- 設計者
1. 設計配置は、この図に示す位置に設置する。
2. 設計配置の位置は、作業の状況及び地形に依る。

配置図 1:100

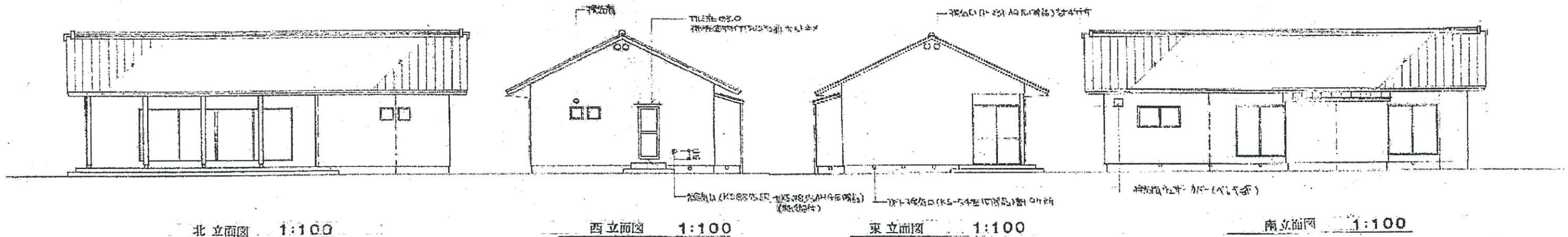
敷名3区B集会所解体工事 設計図		有限会社 A-I 設計コンサルタント	
図面番号 A-8 号		広島県知事18(1)第1028号 一級建築士第157681号 杉谷 優 治	
令和4年 9月 日		既存 配置図 S=1:100	担当 製図 設計

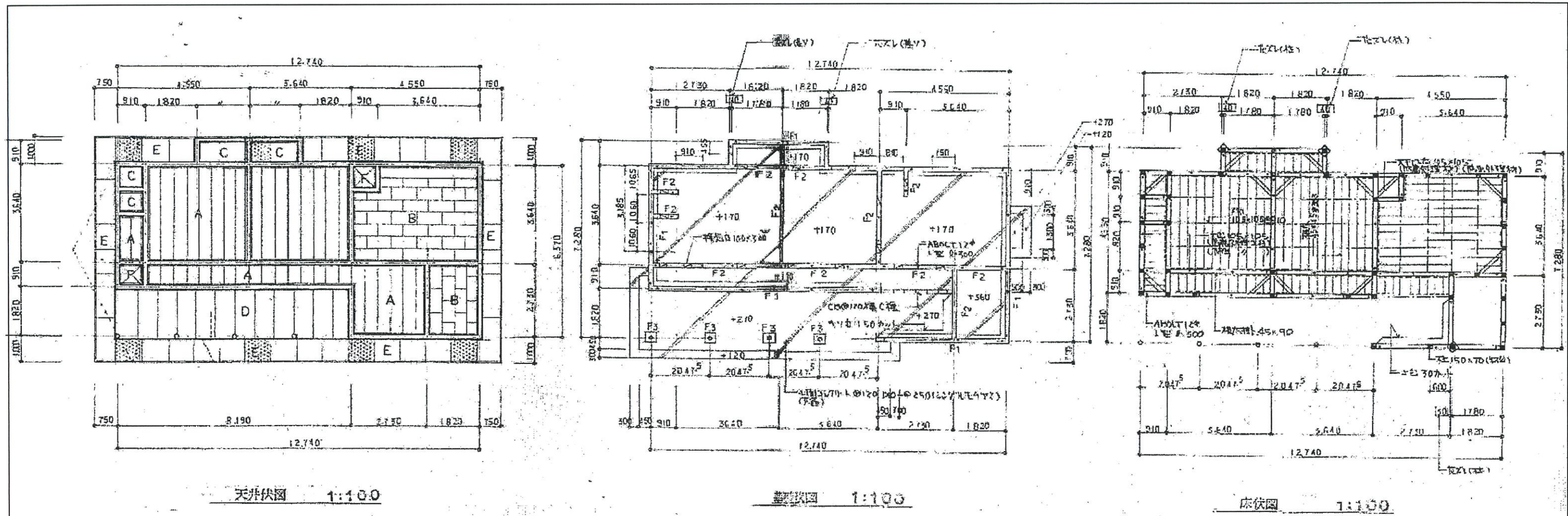


敷名3区B集会所解体工事 設計図			有限会社 A-I 設計コンサルタント		
図面番号 A-9 号		図面内容 建具配置図	広島県知事 18 (1) 第 1028 号 一級建築士第157681号 杉 谷 優 治		
令和 4 年 9 月 日		既存 平面図 部分詳細図 S=1:50 S=1:5	担当	製図	設計

[illegible][illegible]

1. 存在	砂心土柱 120φ	5 要 取	不明既製成材 250x260 中継材 3本	10. 不明既製車台位置は、その相違を指示す。 -10-29-
2. 陸橋	昭核 集成材	6 既製材料	69-612 準平既製2016号	11 - 陸橋足はスクリュー固定とし、105x105 12 - 廻り板はスクリュー×42 又は鋼管12x42 1ヶ所
3. 床面	ガコ - 亜面厚付 160x50	7 既製ボード	69-612 準平既製2015号	13 - 歩道は全て沖積(集成材の次等品) 50x105 14 - 歩道幅は半幅見合とする。上小節
4. 活け掛	昭核 集成材 45x105	8 和 紙	<カ->- 和紙 (WA-2022 程度)	15 - 軒間材、1/2金物は桧間製作作付(和紙)敷く。 16 - ト = 北クロス・<カ->- フレツツ 両方敷く。
4. 量	概況 井はJISA5702標準の2本のJIS5914(12x120x20x110-ポート型線)の4層を2階以上層は55cmの間隔で、階段の日本産杉板材の3枚を2等として表板、海菜のものとする。元々あり50kg重いとす。 合計 4年 30kg/E 概 55%以下が25%以下 その他<カ->- 標準仕様による。但し製品には製造年月日記入必須。			17 - 主梁部断取図にはボード張りを行なう。 18 - 2エニ、29エニ間の向面に断取図には貼着→リナール。



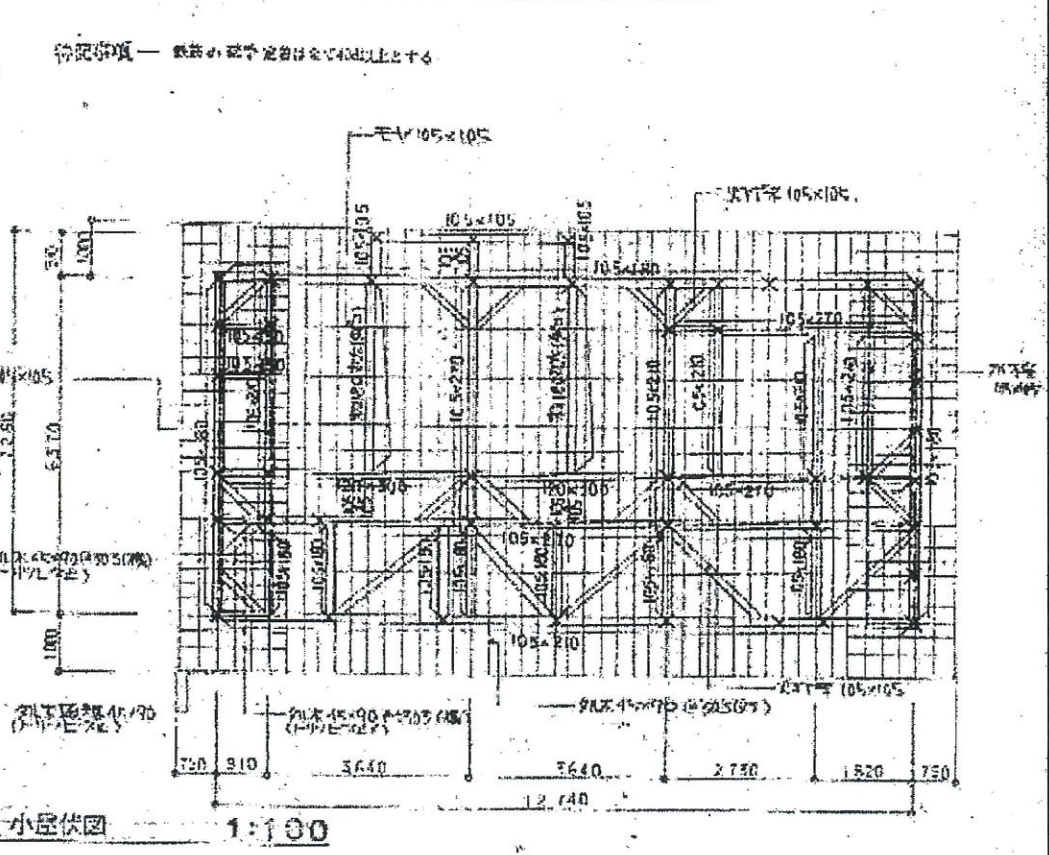
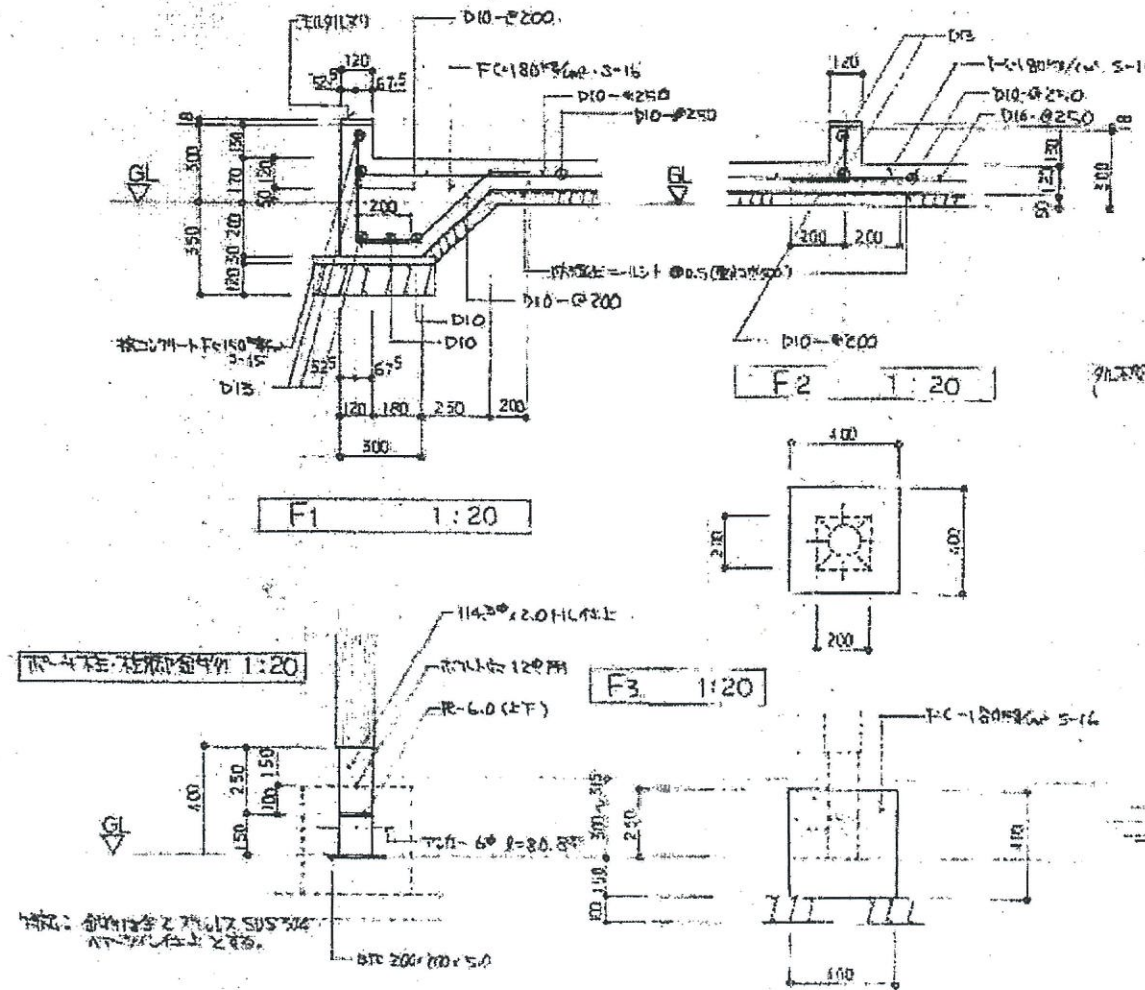


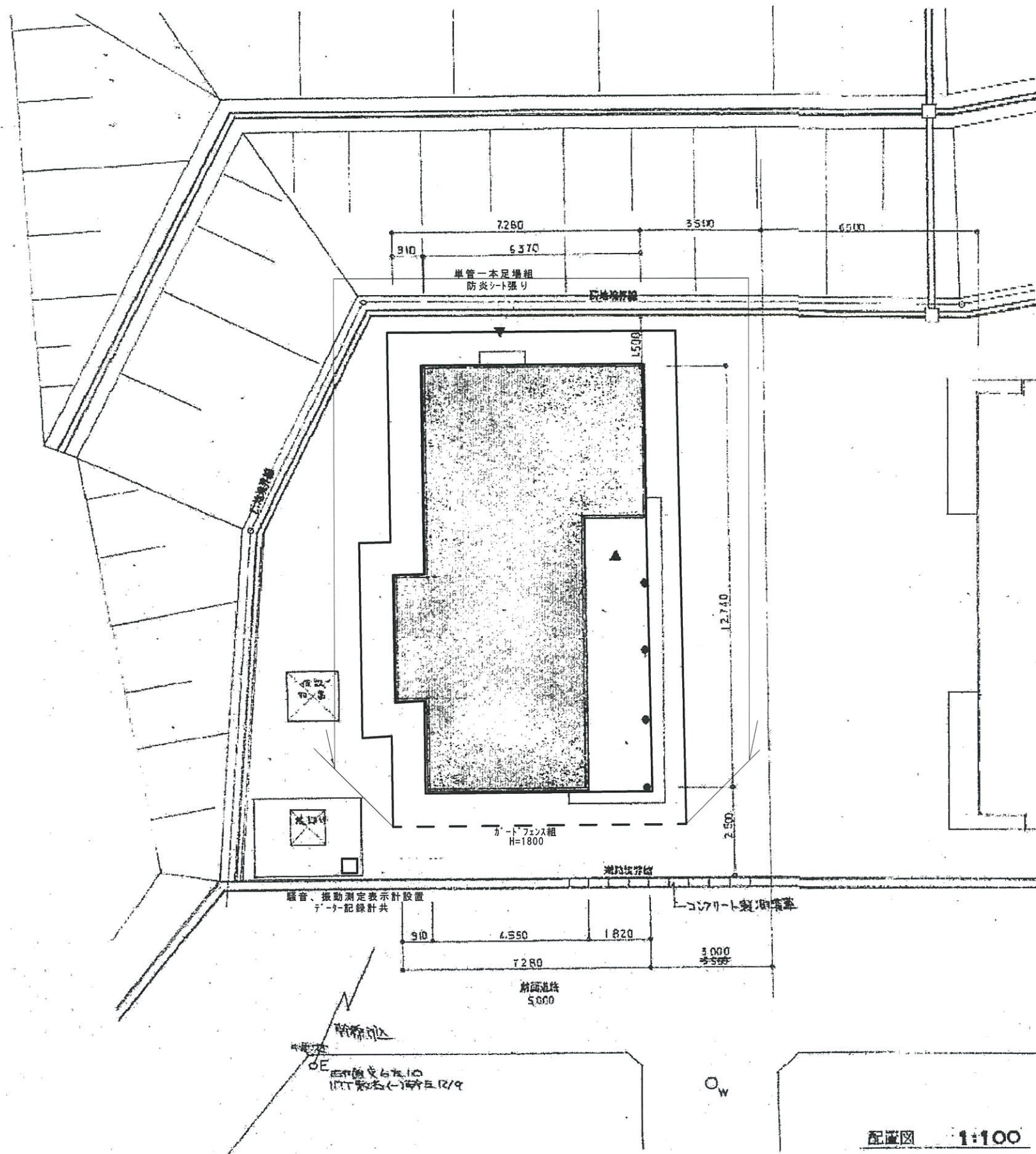
凡例

記号	天井仕上	材料
A	化粧石膏ボード9 (384mm) 底面仕上	木製
B	化粧石膏ボード9 空付部	木製
C	化粧石膏ボード9.0	木製
D	化粧石膏ボード9.0 底面仕上 (化粧石膏ボード9.0) 空付部	木製
E	化粧石膏ボード9.0 (化粧石膏ボード9.0) 空付部	木製
F	天井吊钩	木製

主要材料表

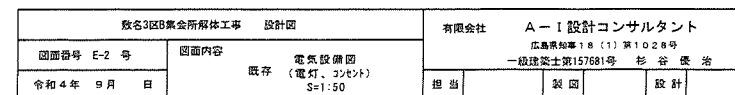
材料名	数量
石膏ボード	105×105 化粧石膏ボード9.0 底面仕上
石膏ボード	105×105 化粧石膏ボード9.0 空付部
石膏ボード	105×105 化粧石膏ボード9.0
石膏ボード	105×105 化粧石膏ボード9.0 底面仕上 (化粧石膏ボード9.0) 空付部
石膏ボード	105×105 化粧石膏ボード9.0 (化粧石膏ボード9.0) 空付部
石膏ボード	105×105 化粧石膏ボード9.0
石膏ボード	105×105 化粧石膏ボード9.0 底面仕上 (化粧石膏ボード9.0) 空付部
石膏ボード	105×105 化粧石膏ボード9.0
石膏ボード	105×105 化粧石膏ボード9.0 底面仕上 (化粧石膏ボード9.0) 空付部
石膏ボード	105×105 化粧石膏ボード9.0

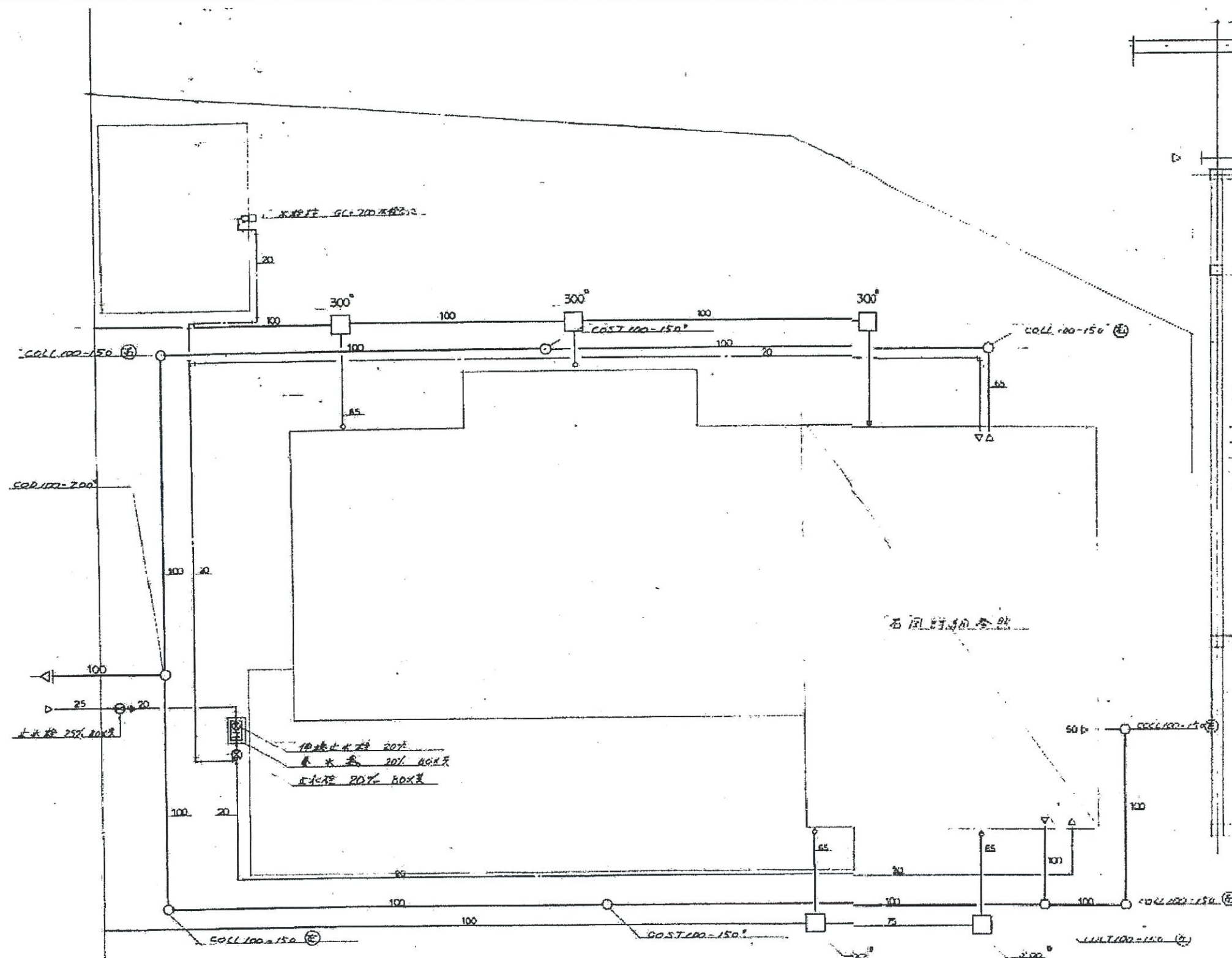




配置図 1:100

敷名3区B集会所解体工事 設計図		有限会社 A-I 設計コンサルタント	
図面番号 K-1 号	図面内容	広島県知事18(1)第1028号	
		一級建築士第157681号 杉谷 優 治	
令和4年 9月 日	工事中	担当	製図
	仮設配置図 (参考)		設計
	S=1:100		

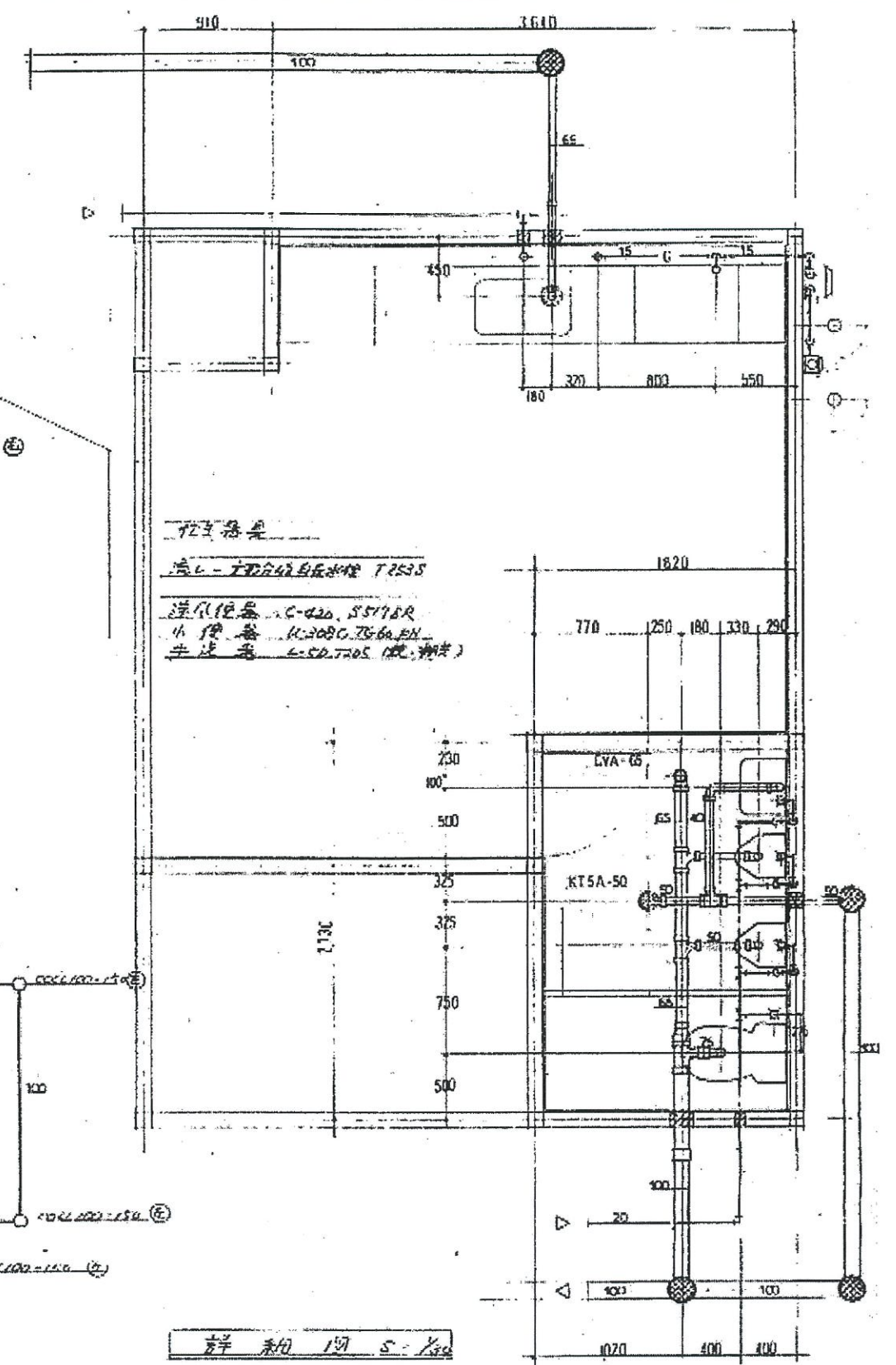




外部配管図 S-150

施工注意

1. 汚水排水は、50mm径の管を使用し、（汚水排水は、50mm径の管を使用）
2. 雨水排水は、75mm径の管を使用し、（雨水排水は、75mm径の管を使用）
3. ガス配管は、環状配管施工し、（ガス配管は、環状配管施工）
4. 電気配管は、配管径は、50mm径の管を使用し、（電気配管は、配管径は、50mm径の管を使用）
5. 給水配管は、配管径は、50mm径の管を使用し、（給水配管は、配管径は、50mm径の管を使用）



内部配管図 S-150

数名3区B集会所解体工事 設計図		有限会社 A-I 設計コンサルタント	
図面番号 M-1 号	図面内容	広島県知事 18 (1) 第 1028 号 一般建築士 第 157681 号 杉谷 優治	
令和 4 年 9 月 日	既存 給排水衛生設備 内外配管図 S=1:50 S=1:30	担当	製図 設計